

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習 I		科目コード	18Y730	担当者	光武 きよみ			
対象学生	幼児教育学科 1年生・2年生		学期区分	1年後期・2年前期	単位数	4	担当形態	複数			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
大学で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・批判創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育所・施設の社会的役割や具体的活動などを理解する					◎	○	◎	○	◎	○
2.	保育所・施設の概要や1日の流れを理解する					◎	○	◎	○	◎	○
3.	子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める					◎	○	◎	○	◎	○
4.	保育者の仕事と役割について把握し、理解する					◎	○	◎	○	◎	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（50%） 実習先の評価（50%）					
学外実習（児童福祉施設等1年次12月または3月に10日間、保育所実習2年次8月に10日間）											
準備学修						課題等への対応					
保育実習指導 I、実習園の事前訪問などで実習に対する知識・技術・姿勢をしっかりと学ぶ。「教育・保育実習の手引」を熟読して実習に備える。						実習事後指導、実習報告会を行い、保育教職実践演習で振り返りを実施している。					
授業計画											
1. 施設 実習期間：1年次 12月 10日間 12月期実習生 3月 10日間 3月期実習生											
児童福祉施設等（保育所以外）で10日間、利用者と生活を共にし、食事や身の回りの支援、また各種作業を共にすることを通して、利用者の実態を理解することに努め、施設や利用者の実状に応じた働きかけの大切さを学ぶ											
a. 現場における基本的な勤務態度・姿勢を学ぶ											
b. 働きかけの姿勢や技術を学ぶ											
・ 集団への働きかけ（集団の把握）											
・ 個々への働きかけ（個別への対応）											
・ 居室内の整備											
・ 職員の協力・連携など											
c. 記録の書き方を学ぶ											
・ 利用者とのかかわりを反省し振り返る											
2. 保育所 実習期間：2年次 8月 10日間											
1) 見学・観察実習/参加実習											
a. 実習保育所について理解する											
実習園の保育方針や特色を理解する。また、1日の流れおよび施設・設備の状況について把握する。											
b. 乳幼児と触れ合う											
乳幼児の様子を観察したり触れ合うことにより、乳幼児の年齢や発達状況を把握する。											
乳幼児と保育者とのかかわりの様子を学ぶ。											
2) 部分実習/総合実習											
担当保育者の指導のもとに、実習生が指導計画を立て、準備→展開→評価に至る保育活動を主体的に担当し、全般的な技術の習熟をはかる。											
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「教育・保育実習の手引」「実習記録ハンドブック」				受講生へのメッセージ	保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導 I で学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるように頑張ってください。					
参考書等	なし										